

令和4年11月17日

令和4年度第2回理事会 議事録

記

1. 日 時 : 令和4年11月17日(木) 14時00分～15時15分
2. 開催方法 : 遠隔で開催
(対面出席は海事センタービル7階 701会議室)
3. 議案 :
 - 第一号議案 : 令和5年度社員推薦委員会委員の承認について
 - 第二号議案 : 令和5年度社員総数の決定について
4. 報告事項 :
 - (1) 令和4年度海洋会ボランティアクラブ支援金の活用について
 - (2) 令和4年度上期収支決算報告
 - (3) 「海洋会行く末提言」実施状況
 - (4) 令和4年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告
5. 出席者(50音順、敬称略)(□:会議室出席者、○:Zoom出席者、無印:欠席)
理 事
○石津 則昭 □岩本 勝美 ○遠藤 充 岡崎 一正 ○掛谷 茂
○葛西 弘樹 ○金田 章治 ○神田 一郎 ○久門 明人 ○小寺 俊秋
□小島 茂 ○齊藤 威志 ○佐藤 元洋 ○長南 賢司 ○橋本 正孝
□平塚 惣一 ○藤井 照久 ○藤丸 明寛
光島 正宏 ○山崎 祐介
監 事
□佐田 昌弘 岡本建之介
オブザーバー
○国土交通省海事局海技課 船員教育室長 中村 昭敏
6. 配付資料 :
 - 配付資料-1 令和5年度社員推薦委員会 委員名簿
 - 配付資料-2 令和4年度海洋会ボランティアクラブ(VC)への活動支援金について(お願い)
 - 配付資料-3 令和4年度上期貸借対照表(令和4年9月30日現在)
 - 配付資料-4 令和4年度上期収支計算書(令和4年4月1日～9月30日)
 - 配付資料-5 令和4年度上期正味財産増減計算書(令和4年4月1日～9月30日)
 - 配布資料-6 「海洋会行く末提言」実施状況
 - 配付資料-7 令和4年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告書

<平塚会長 挨拶>

本日は、御多忙中のところ、御出席戴き有難う御座いました。船員教育室室長 中村 昭敏 様にWEBにてオブザーバーとしてご出席頂いております。本日の議事終了後、ご挨拶賜りたくお願い申し上げます。

<事務局>

令和4年度第2回理事会は 遠隔出席者14名、会議室出席者4名、合計18名の出席で定足数を満たしており、定款第38条の規程に依り、理事会が成立していることが事務局より報告された。

7. 議事

第一号議案 : 令和5年度社員推薦委員会委員の承認について

- ・事務局より、配布資料―1を基に令和5年度社員推薦委員会委員について説明があり、承認された。

第二号議案 : 令和5年度社員総数の決定について

- ・事務局より説明が行われ、令和5年度推薦社員数を65名とすることが承認された。

報告事項(1) 令和4年度海洋会ボランティアクラブ支援金の活用について

- ・事務局より配布資料―2を基に海洋会ボランティアクラブが支援金から1万円を今年度JEANに寄付することが会務委員会に於いて承認された旨報告があった。

報告事項(2) 令和4年度上期収支決算報告

- ・事務局より配布資料―3, 4, 5を基に令和4年度上期決算について報告が行われた。
- ・(神田理事) 半期で会費収入が100万円ほど減っていることについて説明をお願いしたい。
- ・(事務局) 毎年2番会員に会費納入のお願い文章を出しており、それにより、かなりの方から会費を納めていただき、マイナスを減らしている状況です。また、学生の準会員入会者が激減しており、今後入会者を増やす手立てを考えていく必要がある。
- ・(神田理事) 会員の減少に関して、会務委員会では本部事務局を責めるものではなく、高齢会員のご逝去、会費が高いので退会する方がいるのではないかと、海洋会の改革途中で、海洋会に対して悪いイメージを持つ方がいるのではないかとという意見が出ていたので補足しておきたい。
- ・(遠藤理事) 配布資料―4の収支計算書で会費収入の予算額は2600万円で、半期の決算額では約997万円となっているが、例年の状況と比較して少ないのか、あるいは例年と同程度なのか伺いたい。
- ・(事務局) あくまでも途中経過であり、例年12月、1月、2月に会費を納める人が多いので、まだはつきりはしません。例年に比べて納入具合は横ばい状況で、あまり変わりません。また、会員の高齢化で、退会、ご逝去により会員減の傾向は歯止めが利かないが、本部が大学に移動することにより現役学生と物理的に近くなるので、現役学生との関わりを増やすことで準会員の減少に歯止めをかけたいと考えている。

報告事項（3）「海洋会行く末提言」実施状況について

- ・事務局より配布資料—6を基に「海洋会行く末提言」実施状況について報告が行われた。
- ・（海洋会行く末検討委員会 小島委員長）

行く末検討委員会を2年間かけて実施してきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。行く末検討委員会を来年6月の総会を持ちましてクローズしたい。今後の新しい海洋会をどうしていくかについては来年6月総会を目途に新しい委員会を設けていただきたい。
- ・（神田会務委員会委員長）

行く末検討委員会の提言に従い神戸会館の売却を行いました。単純に計算すると売却額4000万円は神戸事務所を維持することにより10年間で売却額はなくなってしまうのではないかと。事務室長は本部の手薄な要員体制を補うために、本部の事務を補助してはどうか。
- ・（山崎理事）行く末検討委員会の報告を聞いて思うことは、海洋会から会員が離れて行ってしまうのではないかと。経費節減をすることで会員の海洋会離れを助長している。来年6月から新しい委員会を立ち上げて若い方々に海洋会をどうするかを考えてもらうことに賛成します。

報告事項（4）令和4年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告について

- ・事務局より配布資料—7を基に「令和4年度上期会長及び専務理事の職務執行状況」について報告が行われました。
- ・（小寺理事）「公益財団法人海難審判・事故調査協会」を「公益財団法人海難審判・船舶事故調査協会」に修正して頂きたい。
- ・（事務局）修正いたします。
- ・（小島理事）5月に行われた支部長連絡会議では清水支部の休部の報告をしましたが、清水支部は歴史的に大切な場所であり、今後清水の方々と相談して支部を復活して頂きたいと思うので、常設委員会等で検討してもらいたい。
- ・（平塚会長）清水支部は大切な場所ですので、しかるべき時期にしかるべき対応をしていきたいと考えております。
- ・（石津理事）神戸大学でどのような講義をしているのか。
- ・（平塚会長）海洋会の会長というより個人の立場でお受けしたのですが、神戸大学の客員教授となっていますので、入学したばかりの1年生を対象に、船員教育の歴史、外航海運界の現状と船員になってからの道のりについて講義をしています。東京海洋大学においても同様な内容で講義を行っています。

<中村船員教育室長>

海洋会は社団法人に移行してから10年が経ち、節目の年となっていると思います。公益活動に取り組まれていること、国土交通行政に関してご協力いただいていること厚く御礼申し上げます。海洋会は海事の普及活動に取り組まれていることと理解しております。少子化が進展する中で、船員を目指す学生数が低迷しており、我々が所管する海技短期大学校、海上技術学校の学生の確保に関わるので、貴会が取り組まれている船や

海への理解、関心を高めて、海事産業における人材確保、そのための積極的な取り組みが一番の処方箋であると考えます。ただ、現在2年以上続いている新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、海事思想の普及活動、WEB, SNS を活用した情報発信を展開しております。また、各港での広報活動を通して船員志望者の掘り起こしをしております。国交省としては船員養成機関と連携を図りながら引き続き優秀な船員の安定的な供給に努めてまいりたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに記名押印する。

令和4年11月18日

一般社団法人 海洋会

議長・代表理事

平塚 惣一

印

出席監事

佐田 昌弘

印